

高津区市民提案型協働事業評価結果及び対応方針表

団体名	帝京大学医学部附属溝口病院
事業名	キッズドクターズスクール 親子で参加する体験型講座2017
所管課	地域ケア推進担当
事業概要	地域の子どもたちに、医療現場での仕事を実際に体験してもらい、医療に関する興味や理解を深めてもらうと共に、検診に関するミニ講座を親子で受けてもらうことで検診の重要性を認識してもらう。

項目別評価

評価項目	評価	人数	評価項目に対する主な意見
事業内容の妥当性	妥当	5人	・子どもの職業体験の中でもめったにない貴重なものであった ・少子化・高齢化なので、医療をターゲットにしたのは妥当 ・大変有意義かつ貴重な体験活動である ・参加した子どもたちにも、一緒に参加した親御さんにも、学び考えるよい機会が提供された
	要改善	0人	
事業の目標設定と達成度	妥当	5人	・すばらしい ・「十二分に達成された」とあるとおりである
	要改善	0人	
事業の効率性と費用対効果	妥当	5人	・市政だよりを通じて知ったという人が多かったので、広報の面で効果的だった
	要改善	0人	
協働のプロセス	妥当	5人	・役所の書式作成について考慮できる限り努力してほしい
	要改善	0人	
協働による成果	妥当	5人	・宮前区等、別区からの応募も、提案型である以上、事業者が認めれば認めた方がよい
	要改善	0人	
中長期的な事業の展望	妥当	4人	・後援などの別モデルの提案など評価したい ・最終報告書(P15)に「事業の継続については検討を要する」とある。かなり無理を強いたのか、改善の余地があるのかは不明であるが、公開プレゼン時、1年間の事業との提案であったので。
	要改善	1人	・病院に実施を一任している限り、継続的な実施は見込めないで区としてこの事業の必要性をどう考えているのか、もう少し当事者的姿勢を持ってほしい

総合評価及び所管課の対応方針

総合評価	<p>本事業の価値として次の5点について評価いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①普段なかなか立ち入ることのない医療の現場でのリアルな職業体験、キャリア教育であったこと ②子どもたちに将来について考えてもらうきっかけとして貴重な機会であったこと ③子どもたちのみならず、事業実施者側の病院スタッフにとっても日頃の仕事を振り返る意味で貴重な機会であったこと ④体験を通じて命の大切さを伝えるものであったこと ⑤母親のみならず、父親も対象とし得る親子参加により、親子が本事業での体験を共有することができたこと <p>一方で、上記のような価値を生み出す事業であったからこそ、再度提案がなされたり、事業が再開されるなど何らかの形でこの事業が再び動き出すことを委員会として望みます。</p>
所管課の対応方針	<p>児童とその保護者を対象とした職業体験がこれまで区も注力していなかった分野であり一定のニーズがあることが本事業の実施により実証されました。今後、区事業全体の企画調整の中で同種の事業が継続されるべきと考えます。その際には、区内事業者、及び職業に対する公平性に配慮する必要があり、同種同事業者の職業体験については後援制度を活用して連携していくものと考えます。</p>